



チャレンジ 人・クローズアップ

CHALLENGE

代表
菊池 裕介さん

車を知り尽くした男が 開発した運転術

ギックリ腰の女性ドライバーが、高崎ー沼田間を痛みを感じないで完走！経験30年のベテランハイヤー運転手からもお墨付をもらった「疲れない運転術」。

その効果に受講者から続々と驚きの声がある。考案したのは自動車加工業を営み、自らモータースポーツに積極的に参加する菊池裕介さんだ。

「私自身もサーキットで命を落としかけたり、親しい人を事故で無くしたりしました。それでも車が好きで、車で悲しい思いをする人を少しでも減らしたい」と菊池さんは開発の動機に熱を込める。

「どんな車も人のスピードをはるかに超えた速度が出ます。運転は基本的に人間の能力の限界を超えています」

菊池さんが教えるのは、過酷なレースの経験と車の知識、人体工学や心理学を組み合わせた、身体への負荷を可能な限り軽減し、安全に運転する方法だ。

「スマート運転術」と名付ける前から、お客様がかかえる運転の悩みを実践的なアドバイスで解決していた菊池さん。

2019年2月開催の金融機関やメディアにビジネスプランをプレゼンする「モーニン

グビッチ」への参加が大きな転機となった。そこで初めて、一人ひとりのドライバーに伝えていた運転技術をマニュアル化した。

同年12月に関東財務局 前橋財務事務所、2021年9月には、わたらせ工業青年会でスマート運転術講座を開催し、徐々に広がりを見せている。

子どもの頃から車好きだった菊池さんは群馬工業高等専門学校を卒業後、半導体メーカーに入社し、エンジニアとして5年ほど働いた。

「半導体の仕事をしている間もレーシングチームに参加し、休みの日にはサーキットで走っていました。その腕を買われ、ほかのチームからも車の加工や調整の依頼が増えていった。

車を仕事にしたい、という思いが強くなり、2003年に「RS-K」を立ち上げた。一般車とレーシングカーの修理・整備・加工を幅広く手掛けている。

「RS-K (Racing Service-KUCHI) を立ち上げた当初は、一般車の仕事がほとんどでしたが、徐々にレーシング領域の依頼が増え、設立20年を前に事業を再構築中です」と話す。

レーシングカーの加工・管理・保守を請け負うガレージの運営、レース用のオリジナルパーツの製造・販売、そしてスマート運転術の3つを新たな事業の柱に据える。車と人の幸せな関係を築くため、RS-Kの活動はさらに加速していく。(N)

CHALLENGE ちょっと一言

「学ぶこと、探求することが大好きです。分からないことがあると、徹底的にその箱を開けて、確かめてみなければ気が済みません」と話す菊池さん。エンジニアとして培った工学の考え方をベースに、レースでの駆け引きのために心理学、レース中の身体の動かし方の研究のために人体工学を独学で学んだ。それらの知識と経験が凝縮され、スマート運転術として実を結んだ。



RS-K

住所：高崎市上滝町 900-1
TEL：027-353-3760
営業時間：9:00～20:00 (平日)
10:00～19:00 (土日・祝日)
定休日：毎週火曜、レース・イベント日

地元企業のパートナー たかさき法律事務所

弁護士 長井 友之 弁護士 田島 慎太郎 弁護士 清水 俊昌 弁護士 飯野 豪
弁護士 栗原 秀和 弁護士 佐藤 亮 弁護士 並木 駿介 弁護士 松野 弘輝

事務局：日弁連事務職員能力認定試験合格者4名在籍